

第6学年3組 体育科学習指導案

1 単元名 バasketボール

2 運動の特性

バスケットボールは、2チームが入り交じり、パスやドリブルを使って攻め、ゴールにシュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。

3 児童の実態

(1) 知識・技能の状況について

パスでは、相手の胸元を狙って強く投げることができる児童が約3割程度であった。多くの児童は、相手までパスが届かなかったり相手がキャッチしやすい場所に投げられなかったりして、安定したパスをすることができなかった。キャッチについては、静止している状態であればほとんどの児童が安定してキャッチすることができた。ドリブルでは、前を向きながらスピードに乗ってドリブルできる児童は2割程度であった。ほとんどの児童が真っ直ぐにドリブルすることはできるが、ボールに集中しすぎて前が見えていない状態である。シュートでは、フリースローラインからは約7割の児童、斜め45°からは約8割の児童が、10本中3本以下の成功となった。ボールの軌道が直線的であったり、バックボードを使わずリングを直接狙ったりしたことが大きな原因と考えられる。

試しのゲームでは、ボールに密集してしまうことが多かった。静止した状態でのパスの受け渡しが多く、空いているスペースに走ったりパスを出したりできる児童は少数であった。普段からバスケットボールに触れている児童とそうではない児童の技能差が大きく、経験者がほとんどボールを保持しているような様子も見られた。その中で、動き方が分からない児童や、プレーに関われない児童が多くいた。4対4で行ったため、スペースが狭くなってしまったり、一人一人のボールに関わる機会が少なくなってしまうことが考えられる。

(2) 思考・判断・表現の状況について

自分の課題を見付けることについて、「できる」「どちらかというところできる」と回答している児童は27名いる。しかし、これまでの学習の様子から課題が抽象的であったり、実態に合わない課題を設定していたりする児童も多くいる。また、チームに合った作戦を考えることについて、「できる」「どちらかというところできる」を回答した児童は21名である。5年生時に、ボール運動の単元としてソフトバレーボールとサッカーに取り組んだ。その際には、自分のチームの特徴に合わせた作戦を立てるという経験をしてきている。しかし、チームの実態に合っていなかったり、作戦を意識して動けなかったりする様子が多く見られた。友達へのアドバイスについて、「できる」と回答したのは15名で約半数が自分の考えや思ったことを伝えることに自信をもてていないことがわかった。自分の課題を解決したり、友達にアドバイスしたりするために、「友達の動きを見る」と回答している児童が多数いる。しかし、これまでの学習の様子では、友達の動きに無関心な児童が多く、自分の動きを撮影したのを見るのが中心であったり、資料を基に学習に進めたりする児童が多い。

(3) 主体的に学習に取り組む態度の状況について

体育の学習について、「好き」「どちらかという好き」と回答する児童が24名いる中、「どちらかという嫌い」と運動を苦手とする児童が4名いる。日常生活の中でも、体育以外で運動に親しむ児童が少ないのが実態である。バスケットボールについて「好き」「どちらかという好き」と回答した児童が21名いたが、「どちらかという嫌い」と回答した児童が6名いた。バスケットボールの学習への不安の理由については、技能、けが、友達との関わりが挙げられた。単元を通して目指す姿として、技能面の向上や、友達との関わり方についての記述が多かった。技能の向上と友達との豊かな関わり合いが達成できるような学習を児童が望んでいることがわかった。

4 研究の視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点と学習の手立て

視点1 課題を見付け解決できる学習過程の工夫と指導内容の明確化

<手立て>

○作戦やルールを選んでゲームを楽しむための学習過程

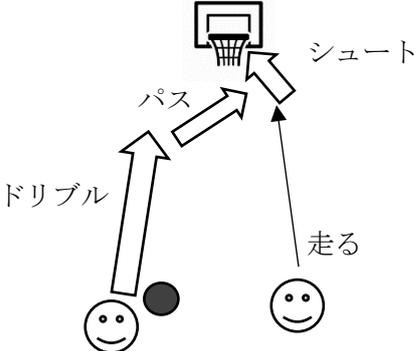
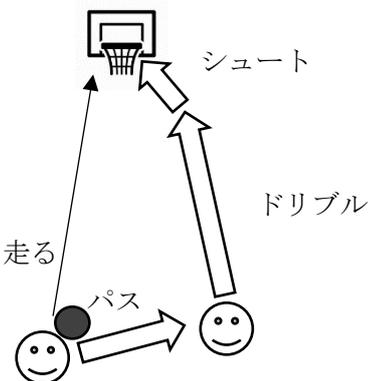
本単元では、自分のチームの特徴を捉えて作戦を立て、相手チームとの攻防を楽しませたい。学習活動①の3時間では、簡単なルールで総当たり戦を行う。その中で、自分のチームの特徴を捉えて、ゴールに迫るために必要な攻め方を見付けていく。チームで見付けた攻め方は全体で共有し、どのチームも作戦の選択肢を広げられるようにしていく。総当たり戦を行うことによって、相手チームの特徴にも気付けるようにしていきたい。自分や相手のチームの特徴に目を向け、学習活動②で作戦を立てられるようにしていきたい。

学習活動②の3時間では、学習活動①で捉えたチームの特徴を基に作戦を選んで対抗戦を行う。自分のチームの特徴に合わせた作戦を立てて、競い合う楽しさを味わわせていきたい。また、学習活動①での対戦成績から、実力差が大きい場合などは対戦するチーム同士でルールを調整していく。

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	
学習のねらい	学習の進め方を知り、見通しをもつ。	攻め方を考え、ゲームを楽しむ。						
0 ↓ 45	オリエンテーション ・学習の道すじ ・ルール、マナー ・つながる運動 ・試しのゲーム ・振り返り	つながる運動			学習活動② 作戦を選んでバスケットボールを楽しむ。(対抗戦)			まとめ
		学習活動① 簡単なルールでバスケットボールを楽しむ。(総当たり戦)						
重点内容	・運動について知る。	・チームの特徴を捉える。 ・ゴールにつながる攻め方を見付ける。		・チームの特徴に合った作戦を選ぶ。				

○ゴールにつながる動きを身に付けるためのつながる運動

本学級の児童は、実態調査からゲームの中での動き方がわからず、パス、ドリブル、シュートの基本的な技能をゲームに生かせない児童が多い傾向にあることがわかった。さらに、単元を通して技能の向上を目指す児童が多くいる。そこで、ゴールにつながるための「ドリブル」「パス」「シュート」の要素が入ったつながる運動を行い、ゲームに生かすことのできる動きを身に付けられるようにしたい。動き方がわからない児童や、技能に自信がない児童が単元を通して繰り返し取り組むことで技能が定着することを期待する。単元が進むにつれて、チームや個人の課題、作戦に応じて児童から別のつながる運動の要望があった場合には、柔軟に対応していくこととする。

つながる運動の内容	指導内容
<p>①</p>  <p>ドリブル</p> <p>パス</p> <p>走る</p> <p>シュート</p> <p>②</p>  <p>走る</p> <p>パス</p> <p>ドリブル</p> <p>シュート</p>	<p>○ドリブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピードに乗る。 ・ドリブルしながらパスができそうなスペースを見る。 <p>○パス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェストパスやバウンズパスを使って、味方がキャッチしやすいパスを出す。 ・パスがもらえそうなスペースを見つけて動く。 ・パスを出したらゴール下に走り、リバウンドを狙う。 <p>○シュート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックボードの目印に向けて、山なりのシュートを打つ。 ・パスを受けたら、体をゴールに向けて素早くシュートする。

視点2 運動の楽しさや喜びを膨らませる関わり合いの工夫

<手立て>

○ルール工夫

シュートを打つことに楽しさを感じている児童も多数おり、得点を競い合う楽しさを味わわせるために、攻めやすさを重視したい。そこで、オフenseマンルールを使い、数的優位の状態で攻めることができる状況を作り出していく。そうすることで、パスやドリブルがしやすくなったり、シュートまでの流れが容易になったりし、技能の高さに関わらずバスケットボールの楽しさを味わいやすくなると思う。その際、自陣からのスローインでは、数的不利になってしまう状況が考えられる。そのため、スローインマンと称したボール出しをする人員を兄弟チームから配置し、一方的なゲーム展開になることを防いでいきたい。

また、どの児童もなるべく多くボールに関わり、シュートを打てるような姿を期待している。そこで、傾斜得点を設定する。それぞれの児童について、最初の得点は5点とし、それ以降は1点とする。

そうすることによって、なるべく多くの得点を得るために全員がシュートを決めることを目標とする様子が期待できると考える。前半終了時点で傾斜得点はリセットし、どの試合においても多くの児童が積極的にボールに関わり、得点を競い合う楽しさを味わえるようにしていきたい。

○兄弟チームの設定

本学級の児童は、友達の動きに目が向きにくく、チームの特徴を捉えにくかったり、友達に声をかける姿が少なかったりする実態がある。さらに、友達と関わって協力しながら学習に取り組みたい児童が多くいることがわかった。そこで、兄弟チームを設定する。1チームを7人で構成し、3人チームと4人チームに分かれる。それぞれが試合を行い、兄弟チームの勝ち点の合計で競い合うこととする。7人で話し合い、自分たちの特徴や作戦に合わせて自分たちで3人チームと4人チームのメンバーを決めていけるようにしていく。その際には、偏りが出すぎないように均等にチームを構成できるように声かけしていく。4人チームに関しては、均等に出場できるように交代する児童はローテーションするようにする。さらに、兄弟チームは同じコートで試合を行い、つながる運動や作戦タイムを一緒に行っていく。そうすることで、チームが勝つために友達にアドバイスしたり、チームの特徴を捉えるために友達の動きをよく見たりする必要感が強くなると考える。この兄弟チームの設定によって、児童が活発に伝え合ったり、教え合ったりしながら学習を進められるようにしていきたい。

また、作戦についてアドバイスが難しい児童も出てくることが考えられる。そのような児童には、学習活動①で押さえた動きのポイントについて声かけをすることを認めていきたい。学習活動①で押さえた動きのポイントについては、掲示物にまとめると共に、児童個人にも配付できるようなワークシートを作成する。

○作戦ボードの工夫（ギガタブの活用）

本単元では、作戦ボードにギガタブの発表ノートを用いる。発表ノートを用いることで、モニターで共有することが容易になったり、データとして単元を通しての積み重ねを残せたりすることがメリットであると考えられる。また、単元の後半になれば、これまで考えてきた作戦を印刷してチームごとに掲示しておくこともできるため、発表ノートを開かなくても作戦を選ぶことができるようになり、書き加えて作戦を改善したりすることもできるようになる。学習が進むにつれて、話し合いやすいように作戦ボードの使い方を選択できるようになるため、短い時間でも有意義な作戦タイムになると考える。

5 単元の目標

- (1) バasketボールの行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすることができるようにする。 (知識及び技能)
- (2) 自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだり、考えたりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) Basketballに積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたりすることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等)

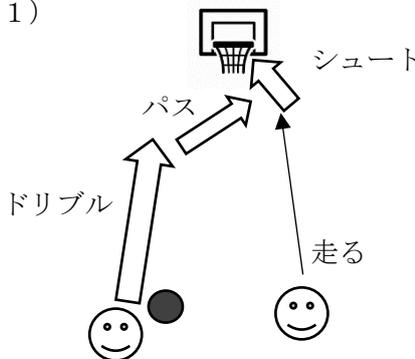
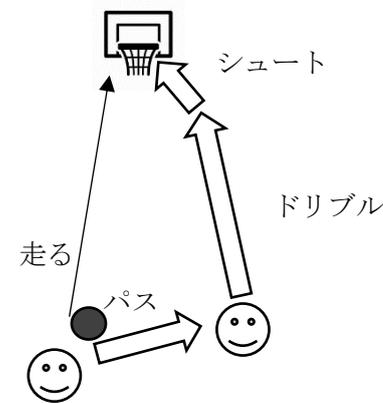
6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①バスケットボールの行い方について、言ったり書いたりしている。 ②得点しやすい場所や、パスが受けられる場所に移動することができる。 ③フリーの味方にパスを出したり、パスを受けてシュートをしたりすることができる。	①自分のチームの特徴に応じた簡単な作戦を選んでいる。 ②自分や仲間の動きの工夫を友達に伝えている。	①バスケットボールに積極的に取り組もうとしている。 ②ルールを守り、助け合って運動しようとしている。 ③ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ④仲間の考えや取組を認めようとしている。

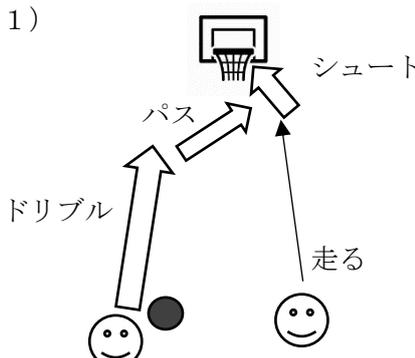
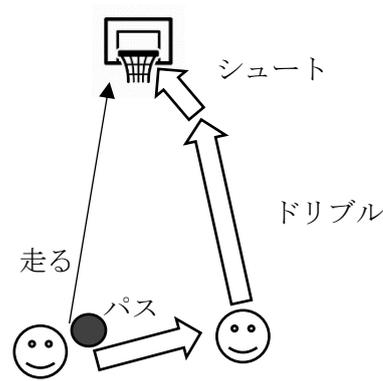
7 指導と評価の計画

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	
学習のねらい	学習の進め方を知り、見通しをもつ。	攻め方を考え、ゲームを楽しむ。						
0 ↓ 45	オリエンテーション ・学習の道すじ ・ルール、マナー ・つながる運動 ・試しのゲーム ・振り返り	つながる運動						
		学習活動① 簡単なルールでバスケットボールを楽しむ。(総当たり戦)			学習活動② 作戦を選んでバスケットボールを楽しむ。(対抗戦)			
		① 観察・カード		② 観察・カード		③ 観察・カード		
思・判・表		② 観察・カード		① 観察・カード		① 観察・カード		
態度	① 観察・カード	② 観察・カード		④ 観察・カード		③ 観察・カード		
		② 観察・カード		④ 観察・カード		④ 観察・カード		

8 指導計画（本時6/7）

	学習内容と活動	教師の指導・支援（○） 評価（◇）
<p>はじめ</p> <p>1 時間目</p>	<p>【オリエンテーション】</p> <p>1 場づくりをする。 ・得点板、ビブス、テレビ、ギガタブ</p> <p>2 学習のねらいや学習過程を知り、見通しをもつ。 ・学習のねらい、道すじ ・マナーと約束 ・安全面 ・兄弟チームの説明</p> <p>3 準備運動をする。</p> <p>4 つながる運動をする。 (1)</p>  <p>(2)</p> 	<p>○仲間と協力して場づくりをするように促す。</p> <p>○全体の間を確認し、用具の配置やICT機器の扱いについて指導する。</p> <p>○次時からは、チームごとに場づくりをすることを伝える。</p> <p>○オリエンテーションカードや掲示物を利用して、視覚的に捉えやすいようにする。</p> <p>○1チーム7人の中で、3人チームと4人チームに分け、味方として試合の結果や作戦を共有していくことを伝える。</p> <p>○バスケットボールで使う部分を意識して行うように声かけする。</p> <p>○ボール操作に慣れない児童には、ライトバスケットボールも選択できることを伝える。</p> <p>○スピードに乗ってドリブルできるように声かけする。</p> <p>○ドリブルをしながら、パスを出すスペースを見ることを声かけする。</p> <p>○チェストパスやバウンズパスを使って、味方が取りやすいパスを出せるように促す。</p> <p>○スペースに走り込んで、パスがもらえるように声かけする。</p> <p>○スペースにパスを出すために、相手の動く方向の少し前にパスを出すことを伝える。</p> <p>○パスを出したら、リバウンドを狙うために、ゴール下に走れるように伝える。</p> <p>○どのようなシュートが入りやすいか、考えながら取り組めるように促す。</p>

	<p>・つながる運動の振り返りをする。</p> <p>5 ルールについて知る。</p>	<p>○バックボードを使ってシュートをしていたり、パスを受けてから素早くシュートをしたりしている児童を取り上げ、称賛する。</p> <p>○難しさを感じたり、上手になりたいと感じたりした動きを確認し、今後の課題としていくことを伝える。</p>						
	<p><ルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1チーム7人（その中で、3人チームと4人チームに分ける）。勝敗や作戦を共有する。ゲームは、3対3で行う。 ・試合時間は。前後半3分ずつ。 ・ボールは、チーム内や相手チームと話し合い、バスケットボールかライトバスケットボールのいずれかを選択する。 ・セルフジャッジ。 ・オフェンスマンは、ハーフラインより味方陣地に入ることはいできない。 ・反則やコートからボールが出た際は、近くのサイドラインからスローインで再開する。自陣からのスローインは、スローインマンからボールを出す。 ・全員、最初の得点は5点。それ以降は1点。（前半・後半終了時にリセットする。） ・得点した人は、自分で得点板をめくりに行く。 ・勝敗は、チームの勝ち点で競う。 							
<p>な か ①</p>	<p>6 試しのゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内での試しのゲーム <table border="1" data-bbox="309 1245 858 1395"> <tr> <td>コート1</td> <td>コート2</td> </tr> <tr> <td>A①—A②</td> <td>C①—C②</td> </tr> <tr> <td>B①—B②</td> <td>D①—D②</td> </tr> </table> <p>7 学習の振り返りを行う。</p> <p>8 用具の片付けをする。</p>	コート1	コート2	A①—A②	C①—C②	B①—B②	D①—D②	<p>○ルールを理解できていなような様子があれば、ゲームを止めて確認する。</p> <p>○攻守の切り替えが早かったり、オフェンスマンをうまく使えていたりするチームや児童を取り上げ、称賛する。</p> <p>○動き方のアドバイスや「ナイス」などのチームにとって前向きな声かけがあれば、取り上げて称賛する。</p> <p>◇バスケットボールに積極的に取り組もうとしている。 【態度①】</p> <p>○学習カードの書き方や使い方を確認する。</p> <p>○協力して片付けを行うように声かけする。</p>
コート1	コート2							
A①—A②	C①—C②							
B①—B②	D①—D②							
	<p>1 場づくりをして準備運動をする。</p>	<p>○チームで協力して場づくりを行うように声かけする。</p> <p>○バスケットボールで使う部分を意識して準備運動を行うように声かけする。</p>						

<p>2 ・ 3 ・ 4 時 間 目</p>	<p>2 つながる運動を行う。</p> <p>(1)</p>  <p>(2)</p>  <p>3 めあてと学習の進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>簡単なルールでバスケットボールを楽しむ。(総当たり戦)</p> </div> <p>【予想される児童のめあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュートを打つときは、バックボードの目印をねらって打つ。 ・山なりにシュートを打つ。 ・スペースに走って、パスをもらう。 ・バウンズパスを使って相手にとられにくいパスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボール操作に慣れない児童には、ライトバスケットボールも選択できることを伝える。 ○スピードに乗ってドリブルできるように声かけする。 ○ドリブルをしながら、パスを出すスペースを見ることを声かけする。 ○パスが届かなかったり、強くパスができなかったりする児童には、バウンズパスも使うことを促す。 ○チェストパスやバウンズパスを使って、味方が取りやすいパスを出せるように促す。 ○スペースに走り込んで、パスがもらえるように声かけする。 ○スペースにパスを出すために、相手の動く方向の少し前にパスを出すというよいことを伝える。 ○パスを出したら、リバウンドを狙うために、ゴール下に走れるように伝える。 ○どのようなシュートが入りやすいか、考えながら取り組めるように促す。 ○バックボードを使ってシュートをしていたり、パスを受けてから素早くシュートをしたりしている児童を取り上げ、称賛する。 ○動きが身に付かない児童には、一緒に動きながら動きのポイントを声かけする。
--	--	---

- ・スピードに乗ったドリブルをする。
 - ・全員で得点できるようにする。
- 4 1試合目のゲームを行う。
- ・2時間目の例

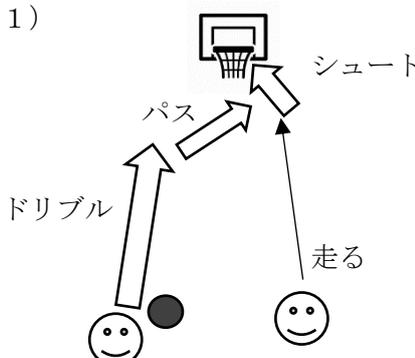
コート1	コート2
A①-B① 前半	C①-D① 前半
A②-B② 前半	C②-D② 前半
A①-B① 後半	C①-D① 後半
A②-B② 後半	C②-D② 後半

- 5 ゲームの振り返りを行う。

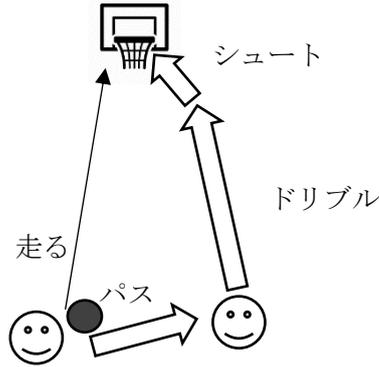
- 始めのあいさつやマナーを守るように声かけする。
- 動き方のアドバイスや「ナイス」などのチームにとって前向きな声かけがあれば、取り上げて称賛する。
- スペースでパスを受けたり、スペースにパスを出せたりするように声かけする。
- シュートを打つときの体の向きやボールの軌道について声かけする。
- スピードに乗っていたり、周りを見たりしながらドリブルできている児童を称賛する。
- 味方が取りやすいパスや相手に取られにくいパスをしている児童について取り上げ、称賛する。
- スペースやオフenseマンを積極的に使うことを促し、うまく使えているチームや児童を称賛する。
- 攻守の切り替えの早さやパスを受けた後に素早くシュートを打つことのよさを伝える。
- チームの攻め方について気付いたことやアドバイスはコート外からも積極的に声をかけるように促す。
- ◇得点しやすい場所や、パスが受けられる場所に移動することができる。

【知・技②】

- 攻め方でうまくいった点や課題について目を向けさせ、次のゲームで生かせるように声かけする。
- 同じチームでゲームに出ていた児童同士だけではなく、コート外で見ていた児童とも伝え合えるように促す。
- 話し合いがうまくいかないチームに入り、攻め方を中心に一緒に話し合う。
- ◇仲間の考えや取組を認めようとしてい

	<p>6 2試合目のゲームを行う。</p> <p>・2時間目の例</p> <table border="1" data-bbox="309 434 858 680"> <thead> <tr> <th>コート1</th> <th>コート2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A①-B② 前半</td> <td>C①-D② 前半</td> </tr> <tr> <td>A②-B① 前半</td> <td>C②-D① 前半</td> </tr> <tr> <td>A①-B② 後半</td> <td>C①-D② 後半</td> </tr> <tr> <td>A②-B① 後半</td> <td>C②-D① 後半</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 ゲームの振り返りを行う。</p> <p>8 学習の振り返りを行う。</p> <p>・個人のみあてについて</p> <p>・チームでの攻め方について</p> <p>9 用具の片付けをする。</p>	コート1	コート2	A①-B② 前半	C①-D② 前半	A②-B① 前半	C②-D① 前半	A①-B② 後半	C①-D② 後半	A②-B① 後半	C②-D① 後半	<p>る。 【態度④】</p> <p>◇自分や仲間の動きの工夫を友達に伝えている。 【思・判・表②】</p> <p>○1試合目に引き続き、前向きな声かけやよい動きについて称賛する。</p> <p>○振り返りで話したことや見て気付いたことをコート外からも積極的に声かけすることを促す。</p> <p>◇ルールを守り、助け合って運動しようとしている。 【態度②】</p> <p>○得点やシュートにつながった動きについて目を向け、話し合うように促す。</p> <p>○友達やチームの動きを見て、話し合っているチームや児童を称賛する。</p> <p>○得点やシュートにつながる攻め方をしていたチームや児童を取り上げ、作戦を立てる材料として共有する。</p> <p>◇バスケットボールの行い方について、言ったり書いたりしている。 【知・技①】</p> <p>○率先して動いている児童や協力して片付けをするチームを称賛する。</p> <p>○けがや困ったことはないか確認する。</p>
コート1	コート2											
A①-B② 前半	C①-D② 前半											
A②-B① 前半	C②-D① 前半											
A①-B② 後半	C①-D② 後半											
A②-B① 後半	C②-D① 後半											
<p>な か ②</p> <p>5 ・ 6 (本時)</p> <p>・ 7 時 間 目</p>	<p>1 場づくりをして準備運動をする。</p> <p>2 つながる運動を行う。</p> <p>(1)</p> 	<p>○チームで協力して場づくりを行うように声かけする。</p> <p>○バスケットボールで使う部分を意識して準備運動を行うように声かけする。</p> <p>○ボール操作に慣れない児童には、ライトバスケットボールも選択できることを伝える。</p> <p>○スピードに乗ってドリブルできるように声かけする。</p> <p>○ドリブルをしながら、パスを出すスペースを見ることを声かけする。</p> <p>○パスが届かなかったり、強くパスができなかったりする児童には、バウンズパスも使うことを促す。</p> <p>○チェストパスやバウンズパスを使って、</p>										

(2)



(3) チームや個人の課題に応じた練習
(例)

- ・逆サイドのスペースを狙ってパスを出す動きを練習してみよう。
- ・ゲームみたいにディフェンスを入れて動いてみよう。
- ・ドリブルの得意な〇〇さんからゴール下でパスを受けられるように動いてみよう。
- ・パスを受けて、素早くシュートを打つ練習を繰り返そう。
- ・〇〇さんはキャッチが苦手だから、個別で教えてあげよう。

3 めあてと学習の進め方を確認する。

作戦を選んでバスケットボールを楽しむ。(対抗戦)

【チームの作戦の例】

- ・全員が得点できるように、点を取ってない人がゴール前に走れるようにしよう。
- ・Aさんの得意なドリブルで相手を引き付けて、逆サイドのスペースをねらおう。

【予想される児童のめあて】

- ・ゴール前のスペースでパスを受けたら、素早くシュートを打つ。
- ・ディフェンスに取られにくいように、バウ

味方が取りやすいパスを出せるように促す。

- スペースに走り込んで、パスがもらえるように声かけする。
- スペースにパスを出すために、相手の動く方向の少し前にパスを出すとよいことを伝える。
- パスを出したら、リバウンドを狙うために、ゴール下に走れるように伝える。
- どのようなシュートが入りやすいか、考えながら取り組めるように促す。
- バックボードを使ってシュートをしたり、パスを受けてから素早くシュートをしたりしている児童を取り上げ、称賛する。
- 動きが身に付かない児童には、一緒に動きながら動きのポイントを声かけする。
- 各チームを回り、作戦や課題に合っているか確認し、必要に応じて助言する。
- 得点やシュートにつながる動きについて取り上げ、称賛する。
- つながる運動①②以外にも、チームや個人の課題に応じたつながる運動を行ってよいことを伝える。
- 動き方がわからない児童には、一緒に動きながらポイントを確認する。

- チームで作戦を確認するとともに、チームのために個人として何をめあてとするのか明確になるように声かけする。
- めあてが明確になっていない児童には、前時までの課題からめあてを設定したり、チームが勝つためにどのような動きが必要か考えたりすることを声かけする。

◇自分のチームの特徴に応じた簡単な作戦

<p>ンズパスを使って確実にパスをする。</p> <p>4 1試合目のゲームを行う。</p> <p>・6時間目（本時）の例</p> <table border="1" data-bbox="309 333 858 584"> <thead> <tr> <th>コート1</th> <th>コート2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A①-C① 前半</td> <td>B①-D① 前半</td> </tr> <tr> <td>A②-C② 前半</td> <td>B②-D② 前半</td> </tr> <tr> <td>A①-C① 後半</td> <td>B①-D① 後半</td> </tr> <tr> <td>A②-C② 後半</td> <td>B②-D② 後半</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 ゲームを振り返り、作戦を考える。</p> <p>6 2試合目のゲームを行う。</p> <p>・6時間目（本時）の例</p> <table border="1" data-bbox="309 1682 858 1933"> <thead> <tr> <th>コート1</th> <th>コート2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A①-C① 前半</td> <td>B①-D① 前半</td> </tr> <tr> <td>A②-C② 前半</td> <td>B②-D② 前半</td> </tr> <tr> <td>A①-C① 後半</td> <td>B①-D① 後半</td> </tr> <tr> <td>A②-C② 後半</td> <td>B②-D② 後半</td> </tr> </tbody> </table>	コート1	コート2	A①-C① 前半	B①-D① 前半	A②-C② 前半	B②-D② 前半	A①-C① 後半	B①-D① 後半	A②-C② 後半	B②-D② 後半	コート1	コート2	A①-C① 前半	B①-D① 前半	A②-C② 前半	B②-D② 前半	A①-C① 後半	B①-D① 後半	A②-C② 後半	B②-D② 後半	<p>を選んでい</p> <p>【思・判・表①】</p> <p>○対戦相手と決めたルールを確認するように促す。</p> <p>○作戦を意識して動いている児童を称賛する。</p> <p>○これまでの学習のポイントを押さえ、よい動きをしている児童を称賛する。</p> <p>○作戦を意識しながらコート外からも積極的に声をかけるように促す。</p> <p>○作戦を意識した声かけが難しい児童には、これまでに押さえた動きのポイントを基に声をかけるように促す。</p> <p>○動き方がわからない児童には、コート外の児童も教えてあげられるように声かけする。</p> <p>◇フリーの味方にパスを出したり、パスを受けてシュートをしたりすることができる。</p> <p>【知・技③】</p> <p>○作戦が効果的であったか話し合うように促す。</p> <p>○得点やシュートにつなげることを意識できるように声かけする。</p> <p>○必要に応じて作戦を変更することを促す。</p> <p>○作戦に応じたよい動きを伝え合ったり、動き方がわからない児童へアドバイスしたりできるように促す。</p> <p>◇自分や仲間の動きの工夫を友達に伝えている。</p> <p>【思・判・表②】</p> <p>○攻め方だけではなく、相手の作戦に応じた守り方をしているチームや児童も称賛する。</p> <p>○振り返りを経て、変化が見られたチームやよい動きをしている児童を称賛する。</p> <p>○コート外からもアドバイスや励ましの声をかけているチームや児童を称賛する。</p>
コート1	コート2																				
A①-C① 前半	B①-D① 前半																				
A②-C② 前半	B②-D② 前半																				
A①-C① 後半	B①-D① 後半																				
A②-C② 後半	B②-D② 後半																				
コート1	コート2																				
A①-C① 前半	B①-D① 前半																				
A②-C② 前半	B②-D② 前半																				
A①-C① 後半	B①-D① 後半																				
A②-C② 後半	B②-D② 後半																				

	<p>7 ゲームの振り返りを行う。</p> <p>8 学習の振り返りを行う。</p> <p>9 用具の片付けをする。</p>	<p>○チーム内でよい動きをしていた児童を伝え合えるように声かけする。</p> <p>○成果や課題をチーム内で共有し、次時ではどの作戦を選ぶか話し合えるように促す。</p> <p>○得点やシュートにつながるよい動きをしていたチームを取り上げ、作戦を全体で共有するようにする。</p> <p>○攻め方だけではなく、相手に応じた守り方にも目を向けられているチームや児童がいれば取り上げて称賛する。</p> <p>◇ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 【態度③】</p> <p>◇仲間の考えや取組を認めようとしている。 【態度④】</p> <p>○率先して動いている児童や協力して片付けをするチームを称賛する。</p> <p>○けがや困ったことはないか確認する。</p>
<p>ま と め</p>	<p>【学習のまとめ】</p> <p>○シュート、ドリブル、パスなどのボール操作を身に付けて、ゲームを行うことができたか。</p> <p>○ボールを持たないときの動きを身に付けて、ゲームを行うことができたか。</p> <p>○チームの特徴に応じて、簡単な作戦を選ぶことができたか。</p> <p>○自分や仲間の工夫を友達に伝えることができたか。</p> <p>○バスケットボールに積極的に取り組み、ルールを守って助け合って運動したり、ゲームの勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたりすることができたか。</p>	